

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	576 交通安全施設維持修繕経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路橋りょう費
基本 施策	12 犯罪や交通事故を未然に防ぐ	目	05	交通安全施設整備事業費
		細目	349	交通安全施設維持修繕経費
行革大綱の重点事項番号		4	細々目	51 交通安全施設維持修繕経費
担当部署	コード 191000 名称 建設2課	担当者 氏名	岩野 庄司	連絡先 43 - 2329 (内線) 254

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	道路利用者	※対象件数
成果(どうする)	交通安全施設を適正に維持管理することにより安全に安心して通行できる。	
根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、交通安全施設設置要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	ガードレール修繕 1件      ガードレール工事 6件 カーブミラー修繕 7件      カーブミラー工事 10件 道路照明修繕 10件      道路照明工事 4件 その他区画線等修繕 2件      その他区画線工事 8件	
社会情勢 の変化等	きめこまかな臨時交付金により平成22年度予定箇所を平成21年度(H22線)で執行	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	6,182 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
交通安全施設修繕箇所	箇所数	箇所数	目標 13 実績 13	目標 20 実績 20	20	20
	交通安全施設新設箇所	箇所数	目標 31 実績 31	目標 28 実績 28	20	20

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
交通安全施設修繕箇所		住民要望に基づく修繕箇所数により満足度を置く。	箇所数	目標 13 実績 13	目標 20 実績 20	20	20
	交通安全施設新設箇所	住民要望に基づく新設箇所数により満足度を置く。	箇所数	目標 31 実績 31	目標 28 実績 28	20	20

投入 コスト	直接事業費計(A)	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	6,894	6,182	4,740	5,000	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0		
	一般財源	6,894	6,182	4,740	5,000
	事業投入人件費(B)	2.0 人 14,400	2.0 人 14,400	1.5 人 10,800	1.5 人 10,800
	フルコスト(A)+(B)	21,294	20,582	15,540	15,800

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補充する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補充・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率性	基本施策の目的を達成するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して真似合いでも	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 臨時地方道整備事業	○
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

改善策	住民要望への対応と共に、交通安全モニター制度を利用した迅速な対応を図る。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 交通安全モニター専門員会議で道路標識や安全施設の整備提言を受け、整備を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 秀幸
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 交通安全施設の維持修繕工事等を行うことにより、交通事故を未然に防止し、安心・安全で快適な道路環境の確保を行うことはもとより、今後急速に高齢化が進む中、誰もが安心して快適に移動できる歩行空間が必要である。
現時点における課題、その他	駅、商店街、病院、福祉施設などを結び、バリアフリー化された安全・快適な歩行空間のネットワーク作りが求められている。
課題、その他に対する改善策	財政状況が厳しい中、国の補助メニューを活用して交通環境の改善を図っていく。
(いつまでに、何を、どうする)	